

【 それぞれの教育活動の評価と来年度に向けて 】

よい成果を上げている

- 授業時数の確保
- 漢字や計算力を伸ばす指導
- 地域の人材や素材の活用
- 学校行事や児童会活動での児童の主体的な活動
- 子どもに寄り添う支援や教育相談
- 適時の学校便り・学級便りによる情報発信
- 防犯に関する安全教育・安全指導



異学年縦割りグループの活動で、児童の主体性を育んだ秋の遠足。今年は矢掛地区を歩いた。(10月)



地域の高齢者およそ50人を招いて、地域巡りや文化・体験活動を教えていただき、交流を深めた。(6月)



毎週、水曜日の5校時前の時間(15分間)を活用しためんがタイム。計算力や漢字を書く力の習得にあてた。(通年)

ある程度の成果を上げている

- 音読の力を伸ばす指導
- 分かる授業、楽しい授業の創造
- 互いを尊重し助け合う人間関係づくり
- 休み時間に外でしっかり遊ぶ
- 「中川あ・は・は」「矢掛あ・は・は」の取り組み
- 保護者や子どもに分かりやすい学習到達度の伝達



ぐんぐんタイムと名付け、一人一人の音読の力を伸ばすよう、毎朝、国語の教科書を使って練習に取り組んでいる。(通年)



友達を大切にすることをめあてに取り組んだ仲よし集会。みんなで仲よく助け合おうとする意識の高揚が図れた。(12月)

来年度も、継続して実施し、より大きな教育成果をめざします。

来年度は、実施方法を再検討した上で継続して実施し、新たな創意工夫をはかった教育活動を進めます。

